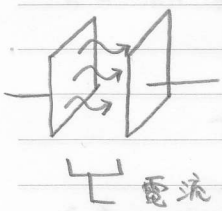
変位電流（電束電流）

変位電流は次式で表せる。

$$I = \frac{d}{dt}\int_S D_n \, dS$$

電束密度Dの、閉曲面Sにおける法線成分の面積分について、時間的に変位するとき、その変位に伴い発生するような電流。

（電束密度Dは電場に依た感じのベクトル場のことです。変位とは、元あった状態からずれることです。変位電流は回路中のコンデンサーに流れる電流が周期的に変化するときに、「このコンデンサーの電流は変位電流である」などと用います。）



電束

電束は、着目する場所における電気力線が貫通する様子を、定量的に規定したものである。
電束Dは次式で表せる。

$$D = \int_S D_n \, dS$$

（D_n：着目する部分の閉曲面Sについて、その周囲を閉曲線Cが囲むとき、D_nはCに対する法線成分の電気力線である。）

（D_nと面積dSとの積の総和が電束Dです。）